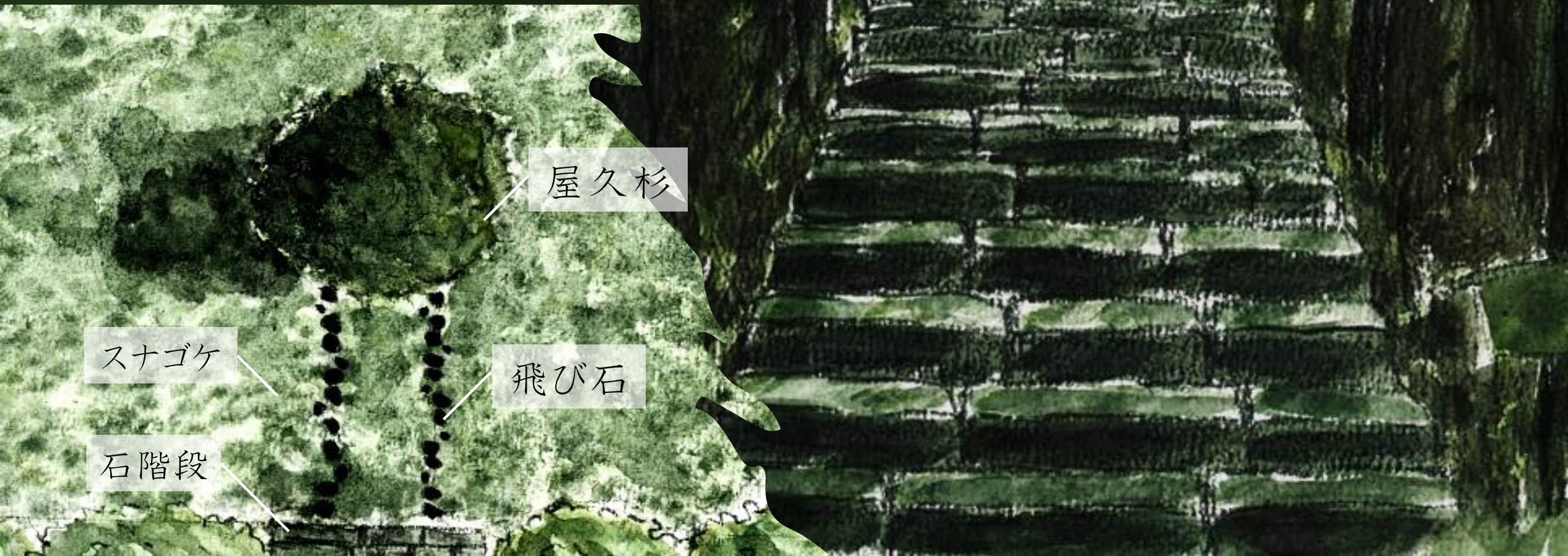


帰愁ノ場(きしゅうのば)

この階段を登った先に帰愁ノ場がある。
看板を読んで階段を登る中、何を思い
何を考えるのか。この先に何があるのか。
木を抱く、触る、引っ掻く、蹴る等この文を
読んで想像した傷のつけ方が実際に
帰愁ノ場に行って、とる行動だろう。
どんな傷が付き、どんな形の木になるかは
この文を読んだ人に問いかける。



屋久杉

スナゴケ

飛び石

石階段